



きじむんの

どろ～ちゅいばにい～ 文庫紹介編

第4回 仲原善忠文庫

キーワード：仲原善忠 おもろさうし

はいさーい&はいたーい！ きじむんやいびーん。みなさん、夏がきたね～！ 熱中症や夏ばてに気をつけてね～！
さて今回は、伊波普猷と並ぶ沖縄学の研究者、仲原善忠先生の紹介をするよ！

・仲原善忠（1890～1964）略歴

仲原は明治 23(1890)年に久米島仲里間切真謝村で生まれました。明治 45(1912)年に沖縄県師範学校を卒業後、大正 2(1913)年に広島高等師範学校に入学し、大正 6(1917)年に卒業しています。その後、静岡県立静岡師範学校、青島中学校、鹿児島県立第一師範学校の教諭を経て、大正 13(1924)年に東京の成城第二中学校教諭となりました。中学部部长、会計課長などを歴任し、学園の教育や経営にも関わっています。戦後は昭和 23(1948)年に『沖縄文化』を創刊、その他沖縄人連盟会長、沖縄文化協会会長等を歴任しました。



仲原善忠(1956年)

・教員として、沖縄学研究者として

教員としては、主に地理教育に携わっていました。最も長らく在籍した成城学園中学校においては、同校が導入した自由主義教育(ドルトン・プラン)に関わり、『日本地理学習指導案全』(小蘭榮との共著)等の地理学教育に関する著書も多く執筆しています。

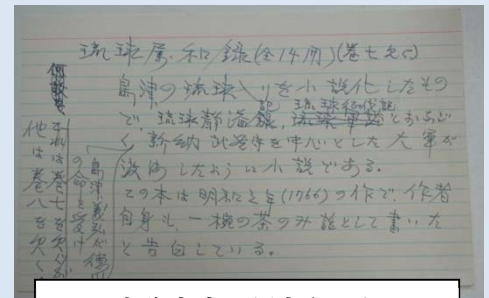
仲原が沖縄研究に着手するのは、昭和 14～15年頃からで、昭和 15(1940)年には弟の仲原善秀との共著による『久米島史話』を著しました。おもろ研究としては、『おもろさうし』の中でも特に久米島おもろを中心に研究をすすめ、その成果は『校本おもろさうし』(1965年)や『おもろさうし辞典・総索引』(1967年)等に集結されています。



教員時代
(1929年)

・ハワイ大学での仲原

昭和 36(1961)年、仲原 71歳の4月に、ハワイ大学東西センターの招きを受け、客員教授として渡米しました。ハワイ大学では宝玲文庫を調査しており、阪巻・宝玲文庫の資料の中には仲原による調査カードが残っています。ハワイ滞在中においても『沖縄文化』等へ論文を発表し、また、ホノルル慈光園において沖縄文化研究会を開き、沖縄の歴史やおもろについて講演を行っています。ハワイ滞在中の仲原の様子は「ホノルル短信」等のエッセイとして綴られ、『仲原善忠全集』にも収録されています。



宝玲文庫の調査カード

・琉球大学附属図書館の仲原善忠文庫

昭和 39(1964)年の仲原の死後、琉球大学の教員であった仲宗根政善や、外間守善の折衝によって、昭和 40(1965)年に琉球大学が仲原の蔵書を一括して購入受入することが決定しました。これが、現在琉球大学附属図書館に収蔵されている仲原善忠文庫です。『久米仲里旧記』や『薩琉往復文書案(「琉球館文書」)』等、貴重な資料もふくまれ、琉球・沖縄研究において重要な研究資源として多くの研究者によって活用されています。

「琉球・沖縄関係貴重資料デジタルアーカイブ」では、仲原善忠文庫の内、『おもろさうし』の写本や、久米島に関する資料等の貴重資料を見ることができ、QRコードからリンクできるので是非アクセスしてね！(CT)



参考文献：「地理教師としての仲原善忠」(萩原真美 教職研究 22,2012) / 『旧制成城高等学校尋常科地理自学書集』(不二出版,2014) / 『仲原善忠全集』(沖縄タイムス社,1978) / 『仲原善忠と沖縄史研究：郷土から生まれる歴史観』(並松 信久,京都産業大学論集 47,2014)

琉球大学附属図書館 沖縄資料担当 平成 28年 7月 1日発行